

平成21年度後学期 学生による授業評価アンケート調査 (最終)

「アンケート結果に応じて」

所属部局	大学院法務研究科		氏名	恒川隆生	
講義コード	23598029010		講義名	行政作用法	
開講曜日	月曜日	11・12時限	専門科目・全学教育科目・全学教育科目(理系基礎科目)		
授業回数	15回	休講回数	0回	補講回数	0回
				受講登録者数	45人
成績評価に際し注意した事項					
期末テストにおける学習成果と、行政法学の確実な内容上の理解					
報告内容					
受講生1 (45人) 中、回答者1 19人 (回答率 42.0%)。					
評価内容と「満足率」					
問. 3 教材(教科書等)の使い方が適切である 68.4%					
問. 11 授業でシラバスの内容が反映されていた 78.9%					
問. 4 授業の主題・テーマが明確である 63.2%					
問. 2 板書(PPT等)が読みやすい 57.9%					
問. 12 授業の難易度は妥当である 52.6%					
問. 7 学生の反応を確かめながら講義をしていた 52.6%					
問. 13 授業を受けて知識・技術が身に付いた 52.6%					
問. 10 学習の雰囲気・秩序を保とうとしていた 84.2%					
問. 6 授業の進度が適切である 57.9%					
問. 1 教員の声が聞き取りやすい 94.7%					
問. 8 学生に公平に接していた 84.2%					
問. 5 開始・終了時刻を守ろうとしていた 68.4%					
問. 9 学生の質問・相談に応じる姿勢があった 84.2%					
自由記述欄は以下のとおり(2名)。					
1. この授業のよかったところを書いてください。					
・先生のことばははっきりしていました。					
・授業は例などを取り上げてくださり、たいへんわかりやすかったです。					
2. この授業の改善すべき点を書いてください。					
なし					
3. 授業アンケートに対する意見・要望を書いてください。					
なし					
コメント					
・今年度の夜間主コースの本科目の授業で初めて「秀」を獲得した学生氏が現れた。しかも、答案は授業内容の忠実な記憶の叙述などではなく、創造性あふれた表現になるものであり、読了して強い感激を受けた。これからも授業改善に取り組もうと決意する最良の機会を与えていただいていたと感じている。なお、上記の評価は、試験答案全体を見た結果、その内容を反映した妥当な数字であると思う。ただし一点ふれておくと、問12の「授業の難易度」については、経年で「平易な内容・そのための平易で関心を惹きやすい」と考える事例紹介を拡大してきているつもりであるが、アンケート結果を見ると、その行方は行き着くところを知らないようである(問4、6、7、13もこのことに関連する)。					
・毎年感じることであるが、学生の考え方、感じ方からは自身では気づかない、なるほどと教えられるところが多い。					